

一般社団法人 日本美容外科学会 理事会

主な議事報告(理事会は会務執行に合わせて原則隔月開催しています)

平成 25 年 5 月 15 日	・第 101 回日本美容外科学会担当確定 ・専門医試験内容準備状況確認	・学会ホームページガイドライン制定 ・専門医プレート制作確認	・韓国学会との連携継続
平成 25 年 7 月 18 日	・第 101 回日本美容外科学会中間概要報告 ・第 102 回日本美容外科学会を 2014 年 6 月 7, 8 日にビッグサイトで開催する	・プレストインプラントガイドライン	・学会誌投稿規定改定
平成 25 年 9 月 19 日	・専門医試験報告 185 人合格 ・第 2 回専門医試験・11 月 21 日実施	・専門医更新条件改定 ・先進医療医師会共済会運用開始の報告	・フジテレビへの抗議文発信
平成 25 年 11 月 21 日	・「再生医療等の安全性の確保に関する法律案」について ・第 102 回日本美容外科学会について進捗状況報告確認		・第 2 回専門医試験報告
平成 26 年 1 月 23 日	・東方美容外科学会と共催について・了承 ・第 102 回日本美容外科学会について進捗状況確認・役員は参加者、出展社勧誘	・日本弁護士連合会「医療広告意見書」について	
平成 26 年 3 月 20 日	・第 102 回日本美容外科学会 参加者・出展社促進 ・第 103 回日本美容外科学会会場は、2015 年 6 月にビッグサイトとし・学会長は選考に入る	・平成 26 年度専門医試験は特例を解除し通常(筆記・口頭)試験とする	
平成 26 年 5 月 15 日	・平成 25 年度決算、26 年度事業計画承認 ・第 103 回日本美容外科学会 ・年 1 回学会会場で実施	・第 102 回日本美容外科学参加申込状況確認 ・学会長相川佳之氏満場一致決定 ・専門医更新条件確認	・消費者庁への対応 ・平成 26 年度専門医試験担当役員報告

平成 26 年度事業計画

I. 調査研究・学会・講演会開催事業

- 第 102 回学術集會を山川雅之会長のもとに、6 月 7 日～8 日東京ビッグサイトで開催する。
- 美容外科医療に関する調査、分析を行い、検討結果を整理し、学会資料として会員に広く広報する。

II. 専門医制度に関する事業

- 26 年度専門医認定試験を 1 回東京都で行う。
- 専門医制評価・認定機構に参加する前提での条件整備。
- オンライン登録(会員情報、専門研修医および研修内容等)について整備する。
- 専門医制度関係書類を電子化する。

III. 広報事業

- 学会としての直面する諸問題に対する見解の表明、公表。
- 美容外科の社会への周知、啓発のための資料の作成、公表。
- 上記目的を遂行するためホームページの充実をはかる。

IV. 学会誌および図書等刊行事業

- 会誌 50 号を発行する。
- 学会新聞を発行する。
- その他図書の刊行。

V. 医療制度に関する研究調査事業

- 美容外科医療に関する医療制度実態調査を行う。
- 厚生労働行政における診療科別政策管理に関する事業に協力する。
- 行政課題に対する学会としてのガイドラインの策定および全会員への徹底に向けて会員相互間の連絡を密にし、円滑な運営をはかる。
- 医事問題に関し調査・研究を行い、会員への周知を期する。
- 中央・地方官庁の美容外科医療担当部門、医師会ならびに関係団体との連携を密にし、国民・患者そして学会員の福祉の充実に寄与する。

VI. 関連学術団体との協力事業

- 日本学術会議、日本医学会、日本専門医制評価・認定機構の事業に協力する。
- 日本先進医療医師会の事業に協力する。

VII. 国際的な研究協力推進事業

- 諸外国の美容外科学会および関連学会との連絡・協調に当たる。

VIII. その他

- 医療関連の官公庁、団体などの審議会、委員会などに積極的に参加協力し、美容外科に関する情報の収集、伝達をはかり、学会の見解を反映すべく努める。
- 美容外科と他科の境界領域の問題を検討し、それに対処する。
- 美容外科領域の専門医に係わる問題について検討する。
- 美容外科医療に関する医療技術業務について学会認定・指定を含め検討する。
- 厚生労働省の診断群分類案作成調査研究班に協力する。
- 共済、医師賠償責任保険制度の適正な運営をはかる。

学会員向け活動内容

- 学会及び開業医を発展させるための諸活動を展開する
- 会員共助・保護活動(医療事故対応活動)
- 脅迫、誹謗中傷等ネット犯罪対策
- 共同広告の展開(HP その他の媒体)
- 共同購入(指定業者制)による経費削減
- 会員の自由な意見を反映させる会報および WEB 版
- 経営相談室設置
- 学会でのクリニック紹介ブースの設置および医師募集のサポート
- 開業医同士の業務提携のサポート
- 行政対応窓口の設置
- 未承認医療機器の取り扱いの簡素化
- 広告規制の適正化

収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	決算額
I 事業活動収支の部	
1 事業活動収入	
①会費等収入	5,252,100
会費等収入	5,252,100
②賛助会費収入	100,000
賛助会費収入	100,000
③専門医受験料等収入	14,087,580
専門医受験料等収入	14,087,580
④会誌収入	518,800
会誌収入	518,800
⑤その他収入	0
⑥寄附金収入	0
⑦雑収入	932
受取利息収入	932
事業活動収入計	19,959,412
2 事業活動支出	
①事業費支出	
食事費支出	810
通信費支出	903,607
賃借料支出	137,250
旅費交通費支出	340,140
消耗品費支出	47,016
租税公課支出	51,000
印刷費支出	2,060,958
プレート製作費支出	615,575
支払手数料支出	150,230
101回学会繰出金支出	10,309,223
事業活動支出計	14,615,809
事業活動収支差額	5,343,603
当期収支差額	5,343,603
前期繰越収支差額	16,221
次期繰越収支差額	5,359,824



日本美容外科学会新聞

JAPAN SOCIETY OF AESTHETIC SURGERY
JAPAN FOUNDATION OF AESTHETIC MEDICINE

日本美容外科学会
公式新聞今月号の
主なお知らせ第102回日本美容外科学会
開催迫る

第102回日本美容外科学会

2014年 6月7日(土)・8日(日) 開催

祝 辞

第102回日本美容外科学会が開催されるにあたりひとことお祝いを申し上げます。貴学会の先生方におかれましては、日頃よりご支援、ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

はじめに私事ながら昨年7月に行われた参議院選挙では、梅澤理事長はじめ貴学会の先生方の大きな後押しをいただき4回目の当選を果たすことができました。多大なるご支援をいただいたにも係わらず、公職選挙法の規定により紙面にて御礼できない旨、ご理解いただくと幸いです。参議院の6年間の任期を最大限に有効利用すべく、年ごとに自分なりに計画を積み上げながら長期的視野に立った国のあり方を研究し、取りまとめ、提言し、多くの議員諸氏に呼び掛け、わが国の政府の政策とできるよう、私のライフワークとしている社会保障を柱に多方面にわたる諸問題に取り組んでいます。

また、与党議員を取りまとめて国民医療を守る議員の会の幹事長として短中期的課題としてのわが国の医療と福祉のあるべき姿を示しながら、2025年問題にも責任をもって対処しつつ、安倍内閣の推し進めている構造改革および社会保障と税の一体改革にも協力するなど政府と緊密でありながらも政治の独自性を発揮し国民の声を具現化させる注文も反映させているところです。

さて、貴学会は昭和41年設立の歴史ある学術団体であって、「美容医療を通じて国民の幸福」を一貫して追求されておられます。貴学会所属の美容外科医療に携わる先生方は、年々医学的識見の他に先進医療機器や医療技術向上のために学会を通じて研鑽を積み、多様化するニーズに的確にこたえつつ、安心安全な美容医療の確立のために大きな役割を果たしてこられました。

一方で医療分野でも情報の公開が求められている中で、とかく難解といわれる医療情報といえども美容医療は独特の分野ですので、貴学会として国民・患者の立場に立って、分かりやすく有益な美容医療に関する情報の発信に積極的に取り組まれることを期待します。

おわりに、わが国の美容外科医療のさらなる発展のために学会員の先生方には梅澤理事長を中心に一致結束して研鑽に励まれるとともに貴学会の益々のご隆盛をご祈念申し上げます。



参議院議員 武見 敬三

◆ 会場：東京ビッグサイト 会議棟 1F

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1 TEL:03-5530-1111 (代表) <http://www.bigsight.jp/>

◆ 第102回日本美容外科学会会長

山川 雅之 (The Clinic 統括指導医)

◆ 日本美容外科学会公式 facebook ページ

<http://www.facebook.com/pages/日本美容外科学会/525959570774927?ref=hl>

◆ 日本美容外科学会事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座8-10-8 銀座8丁目10番ビル6階

一般社団法人 日本美容外科学会事務局 田口順一郎

Tel: 03-3571-1270 / Fax: 03-3571-3116 E-mail: jsas@mac.com

専門医制度規則・生涯教育制度の概要を一部変更する

平成 26 年 5 月 15 日 理事会にて決定

美容外科専門医は、認定後も最新の知識と技術を学び続けることが義務づけられ、5 年毎に資格を更新する必要があります。専門医審議委員会では学習や研究活動を点数化した「クレジット(履修単位)登録制度」を採用して評価しています。詳細は、専門医制度委員会規則施行細則による。また、5 年間の認定期間に最低 1 回、本学会が認定する医療倫理、医療安全、医療事故、医事法制に関する研修を受講することが義務づけられています。

※ 前号学会新聞での告知に誤りがありましたので訂正します。
学会発表、学会誌への論文掲載は必須ではなく、学会出席ポイントなどと同様にポイント計算の対象となります。

6月7日(土)

Room A

8:30 開場 受付開始
 8:40
 8:50
 9:00
 9:10
 9:20 開会
 9:30 ライブオペ 9:30~11:00
 座長: Dr. 森川一彦
 オペ: Dr. LIM Jong-hak
 「Dual Threads Lift (Face, Eyebrow, Nasal tip)」

11:00 休憩
 11:10
 11:20

11:30 ランチョンセミナー 11:30~13:00
 提供: PRSS JAPAN 株式会社
 演者: Dr. Thomas Biggs 「タイトル: 体外式乳房拡張器 "Brava" を用いた自己脂肪移植による豊胸術」
 提供: メトラス 株式会社
 演者: 吉澤 和彦先生 「ノンニードル HARG 浸透注入療法の開発: 痛みの軽減 -HARG 療法 800 例の経験から-」
 演者: 佐伯 正典先生 「切らずに多汗症・腋臭症に著効を示す新治療 ViewHOT -158 名 316 症例の検証-」

13:00 休憩
 13:10
 13:20

13:30 シンポジウム1 (脂肪幹細胞) 13:30~15:30
 座長: Dr. 山川雅之
 特別講演:
 Dr. 鎌倉達郎 「脂肪組織由来再生細胞を用いた美容医療治療の実践と重要性」
 Dr. Mark Berman 「アメリカにおける脂肪幹細胞治療の現状」
 Dr. Mark Berman 「ICSS による脂肪幹細胞治療の実際と臨床結果」
 Dr. 大橋昌敬 「乳房インプラント抜去と同時のコンデンスリッチ豊胸: 合併症予防のために」
 Dr. 長野寛史 「スレッドと自家脂肪注入を併用したアンチエイジング手術: 3D セルリフト+マイクロ CRF の効果」
 ディスカッション

15:30 休憩

15:40
 15:50 シンポジウム2 (Breast) 15:50~17:50
 座長: Dr. 真崎信行, Dr. 高田章好, Dr. 山川雅之
 座長より各先生のプロフィール紹介
 特別講演:
 Dr. Thomas Biggs
 "Fifty Years of Breast Augmentation Surgery: From Breast Implants to Fat Grafting"
 Dr. Brian Kinney
 "Four Key Choices in Breast Augmentation Surgery"
 ディスカッション

18:00 ホテル グランパシフィック LE DAIBA のパーティ会場に移動
 18:10 (学会場前よりホテルにバスが出ます)

18:20
 18:30 会長主催パーティ 18:30~
 (ホテル グランパシフィック LE DAIBA)

Room B

8:30 開場 受付開始
 9:00 一般演題1 (5 演題) 9:00~10:00
 座長: Dr. 水野力
 Dr. 横谷仁彦 「クイックコスメティーク法 完全経結膜の埋没法二重術 1700 例の検討」
 Dr. 水谷和則 「下眼瞼の脂肪注入の合併症と修正方法」
 Dr. 水谷和則 「下眼瞼の脂肪注入による紫ぐま (青ぐま、赤ぐま) の治療」
 Dr. 石原信浩 「術後下眼瞼外反に対する植皮術による修正」
 Dr. 水野力 「高さを出す鼻中隔延長術を組み合わせた 3 段階式隆鼻術」

10:00 休憩
 10:10 Anti-Aging シンポジウム 10:10~11:10
 座長: Dr. 松山淳, Dr. 末武信宏
 末武 信宏先生 「アンチエイジング医療とスポーツ医学の実際」
 Dr. R. Peterson "Using Pharmacokinetics and Pharmacogenetics to optimize medication usage"
 傳 亘 先生 「アンチエイジング医療や美容医学に応用できる遺伝子診断」

11:10 休憩

Room A で行われるランチョンセミナーは Room B にも中継する予定です。

資料は各社のブースにて受け取ってください。

13:30 海外セッション 13:30~17:20
 座長: Dr. LIM Jong-hak, Dr. JUNG Kwang-seup
 Dr. AHN Tae-hwan "Appropriate rhinoplasty for asian"
 Dr. Ahn Taehwan "Stem cell rhinoplasty (Rhinoplasty using autologous stem cell)"
 Dr. CHO Jae-ho "Hip Lifting and Contouring with RF Assisted Liposuction"
 Dr. JEON Jeong-hwan "Nasal tip contouring for natural nasal shape in Asian"
 Dr. JUNG Kwang-seup "Face lift"

Coffee black 15:10~15:20

Dr. JUNG Yoo-suk "Facial Contouring with monopolar Radiofrequency assisted Liposuction"
 Dr. LIM Jong-hak "Rhinoplasty with autologous fat and PRP"
 Dr. PARK Kyung-won "Mastopexy with Mesh"
 Dr. SUNG Kisu "AFG of breasts: survival vs. complications"
 Dr. YANG Dong-young "Why the forehead lift is necessary?"
 Dr. Jung Jaeyun "Facial Volume Augmentation with Ellanse Filler"

休憩

6月8日(日)

Room A

8:30 開場 受付開始
 8:40
 8:50
 9:00
 9:10
 9:20
 9:30
 9:40
 9:50

10:00 特別講演 (美容外科の歴史) 10:00~11:00
 座長: Dr. 谷野隆三郎
 Dr. 白壁征夫 「日本における美容外科の歴史」

11:00 休憩
 11:10
 11:20

11:30 ランチョンセミナー 11:30~13:00
 提供: MSD 株式会社
 演者: 佐藤明男先生 「Finasteride による男性型脱毛症の長期治療成績」
 提供: アラガン・ジャパン 株式会社
 演者: 倉田荘太郎先生 「男性型脱毛症に対する補助的治療の可能性」
 演者: 宮田成章先生 「皮膚注入剤によるシワ治療を中心とした顔面 rejuvenation」

13:00 休憩
 13:10

13:20 シンポジウム3 (Face Lift) 13:20~15:20
 座長: Dr. 高田章好, Dr. 山川雅之, Dr. 真崎信行
 座長より各先生のプロフィール紹介
 特別講演:
 Dr. Thomas Biggs "Fifty Years of Facial Rejuvenation Surgery"
 Dr. Brian Kinney "To Cut or Not Cut?"

15:20 パネルディスカッション

15:30 休憩
 15:40 招請講演 15:40~16:30
 座長: Dr. 綿引一
 特別講演: 小林弘幸先生 「今後の事故調査委員会のあり方」

16:20
 16:30 閉会

Room B

8:30 開場 受付開始
 9:00 一般演題2 (6 演題) 9:00~10:00
 座長: Dr. 平田修人
 Dr. 原岡剛一 「スムーズタイプシリコン乳房インプラントを用いた乳房増大術後に乳癌を生じ、二次一期再建を行なった 1 例」
 Dr. 山崎智徳 「イデバエを用いた表情筋収縮によるリフトアップ効果の検討」
 Dr. 大橋葉都子 「シリコン製眉間プロテーゼの作成」
 Dr. 村松英俊 「若年層に対する眉毛下皮膚切除術 (眉下リフト) の適応と工夫」
 Dr. 室孝明 「理想的な profile を得るための治療戦略」
 10:00 Dr. 平田修人 「顎のラインの手術的若返り」

10:10 休憩
 Anti-Aging パネルディスカッション 10:10~11:10
 座長: Dr. 松山淳
 松山 淳先生 「メディカルスパ&エステの定義・種類・役割」
 大澤 克喜先生 「美容エステの歴史と教育」
 総合討議 「資格制度・保険・医療と美容のコラボ等専門的に」
 11:10 パネルディスカッション

休憩

Room A で行われるランチョンセミナーは Room B にも中継する予定です。

資料は各社のブースにて受け取ってください。



Dr. Thomas Biggs



Dr. Brian Kinney

協賛企業一覧

株式会社文光堂書店
 PRSS JAPAN 株式会社
 ハンスバイオメド株式会社
 株式会社ウエルハート
 S O L R O S 株式会社
 株式会社メディカルロジック
 株式会社イリヨーキ
 MTコスメティクス株式会社
 株式会社コスモサウンド
 メディカランド株式会社
 メトラス株式会社
 キュテラ株式会社
 株式会社ドクターズヘア
 株式会社メディカルユーアンドエイ
 株式会社エムエーコーポレーション
 ウイズ・インターナショナル株式会社
 株式会社 MEDSTAR
 株式会社プロ・フィールド
 M S D 株式会社
 マーベラスビューティージャパン株式会社
 クレシオ株式会社
 株式会社カキマメメディカル
 エスビオジャパン株式会社
 株式会社 Eye-Lens Pte Ltd.

株式会社日本美容科学
 アラガン・ジャパン株式会社
 株式会社ウエルハート
 S O L R O S 株式会社
 株式会社ジェイメック
 株式会社VIPグローバル
 AQスキンソリューションズ株式会社
 S u n M e d i c a l
 サイノシユアー株式会社
 キャンデラ株式会社
 西本貿易株式会社
 株式会社 E t e r n a l
 ソニーイーエムシーエス株式会社
 株式会社オセ
 環境プラント工業株式会社
 ジェイシスジャパン株式会社
 ルートロニックジャパン株式会社
 株式会社ダスキン
 株式会社 I N F I X
 株式会社ダスキン
 ルートロニックジャパン株式会社
 T M S C 株式会社
 株式会社セキムラ

株式会社聖医科器機店
 株式会社オーシーメディック
 株式会社ランピック
 ビッグブルー株式会社
 ハルテック株式会社
 株式会社 総見
 株式会社日本ルミナス
 ジェネシスヘルスケア株式会社
 ライズネット株式会社
 ダヴィンチテック株式会社
 株式会社クラシブ
 Chungwoo Medical
 Ahmjung Medix
 株式会社 ARTISTIC & CO.
 Import Medical Japan (IMJ)
 株式会社インディバ・ジャパン
 株式会社 エストプロ
 S i l i m e d K o r e a
 メルセデス・ベンツ
 ロッソ・スクーデリア株式会社

順不同 (5月15日現在)